

日本人の沖縄旅行に関する調査 (2025年版)

[調査内容についてのお問い合わせ先]

〒900-8520 那覇市おもろまち1-2-26

沖縄振興開発金融公庫 調査部地域連携情報室

担当:平良 TEL:098-941-1853

概要

- 沖縄振興開発金融公庫調査部は、日本人の沖縄旅行の実施と意向に焦点を当てた調査を2020年度から実施しています。
- この度2025年の調査結果がまとまりましたので発表します。
- なお本調査について、基礎データは「JTBF旅行意識調査」および「JTBF旅行実態調査」を使用し、公益財団法人日本交通公社への委託事業として実施しました。
- 今後、「公庫レポート」の発刊を予定しています。

<2025年度調査>

調査名	JTBF 旅行実態調査		JTBF 旅行意識調査
	全体調査	トリップ調査 国内宿泊観光旅行*1	
調査項目	主に、実施した旅行の内容		主に、旅行に対する意識
調査対象	全国 16～79 歳の男女 調査会社のパネルより抽出*2		全国 18～79 歳の男女 調査会社のパネルより抽出*2
	—	期間中に観光・レクリエーション旅行を実施した人	
調査方法	ウェブ調査		郵送自記式調査
調査時期	四半期毎（4-5月、7月、10月、1月）		年1回（5-6月）
標本の大きさ (人) / トリップ数*3 (件)	各回 50,000	<2025年度調査> 各回約 1,500/2,400	約 1,200

*1：海外観光旅行も調査対象としているが、今回は国内旅行を分析対象とした。

*2：地域、性別、年代の層別の全国人口構成比に基づき、調査会社のモニターを割り当て。

*3：トリップ数は旅行回数を指す。例えば、期間中に1人が2回旅行に行った場合は、標本の大きさは1人、トリップ数は2件となる。

1. 沖縄旅行実施者の動向

(%)

①居住地 - 関東のシェアが微減傾向

- 「関東」が最多で43.1%を占めた。
- 前年同期と比べて大きな変化はみられないものの、「関東」のシェアが微減傾向にある。

	沖縄県						全国				
	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2025年 1-9月 (n=327)	前年との差	全国との差		2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2025年 1-9月 (n=7488)	前年との差	
居住地	北海道	3.1	4.0	2.1	-1.9	-1.5	3.7	4.0	3.6	-0.4	
	東北	3.7	3.5	1.2	-2.3	-4.6	6.1	5.5	5.8	0.3	
	関東	46.1	45.2	43.1	-2.1	4.9	38.8	38.1	38.2	0.1	
	中部	10.5	11.5	10.1	-1.4	-6.9	17.8	17.1	17.0	-0.1	
	近畿	20.7	19.3	22.0	2.8	3.0	17.1	17.7	19.0	1.4	
	中四国	3.1	5.3	5.2	-0.1	-1.0	6.5	6.4	6.2	-0.2	
	九州	7.5	7.2	9.8	2.6	0.9	9.3	10.1	8.9	-1.1	
	沖縄県内	5.4	4.0	6.4	2.4	5.3	0.8	1.1	1.2	0.0	

(%)

②同行者 - 構成変わらず夫婦が最多

- 「夫婦」が25.4%を占め最も多く、「自分ひとり(17.7%)」、「友人や知人(14.7%)」と続く。
- 前年同期と比べ、いずれの同行者においても大きな変化は見られず、沖縄旅行における同行者の構成は、安定して推移している。

	沖縄県						全国				
	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2025年 1-9月 (n=327)	前年との差	全国との差		2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2025年 1-9月 (n=7488)	前年との差	
同行者	子供連れ家族 (小中高生連れ)	12.5	12.0	14.4	2.3	2.0	12.5	11.7	12.3	0.6	
	子供連れ家族 (乳幼児連れ)	4.7	5.3	7.0	1.7	1.7	5.0	5.3	5.4	0.0	
	大人のみ家族	10.8	10.2	8.6	-1.6	-3.2	11.1	12.0	11.8	-0.2	
	夫婦	24.1	24.9	25.4	0.5	0.7	25.0	24.2	24.7	0.4	
	カップル	9.5	10.7	11.3	0.6	1.9	9.4	10.0	9.4	-0.6	
	友人や知人	16.9	16.6	14.7	-1.9	-0.9	16.1	15.3	15.6	0.3	
	自分ひとり	20.3	19.3	17.7	-1.5	-1.7	19.0	19.8	19.4	-0.4	
	その他	1.0	1.1	0.9	-0.2	-0.6	1.8	1.6	1.5	-0.1	

1. 沖縄旅行実施者の動向

(%)

③ 予約時期 - 予約行動の早期化

- 「1か月前まで」が87.1%を占め、前年同期から10%ポイント増加した。
- なかでも、「半年～1年前」は前年比4.8%ポイント増加し、全国との差も9.3%ポイントと大きい。
- 航空券やホテルの早期割引の活用および予約確保のため、全国平均よりも予約時期が大幅に早まる傾向にある。

		沖縄県					全国				
		2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=371)	2025年 1-9月 (n=318)	前年との差	全国との差	2023年 1-9月 (n=6031)	2024年 1-9月 (n=7143)	2025年 1-9月 (n=7203)	前年との差	
予約 時期	1年以上前	1.7	2.5	0.9	-1.5	0.0	0.7	1.1	0.9	-0.2	
	半年～1年前	12.2	12.8	17.6	4.8	9.3	6.7	8.0	8.4	0.3	
	3～5か月前	34.6	33.0	34.6	1.6	9.9	21.7	21.8	24.7	2.9	
	1～2か月前	31.8	28.9	34.0	5.1	-0.7	38.0	35.4	34.7	-0.7	
	3～4週間前	11.2	12.5	7.5	-5.0	-6.6	15.1	14.9	14.1	-0.8	
	1～2週間前	3.8	6.0	4.1	-1.9	-6.5	10.8	11.1	10.6	-0.6	
	6日前～出発後	4.5	4.4	1.3	-3.1	-5.4	7.1	7.7	6.6	-1.0	
	1か月前まで	80.4	77.1	87.1	10.0	18.5	67.1	66.3	68.7	2.3	
	1か月を切ってから	19.6	22.9	12.9	-10.0	-18.5	32.9	33.7	31.3	-2.3	

④ 旅行形態 - 主流は個別手配だが団体型ツアーも増

- 「個別手配」が65.4%を占め、主流となっている。「団体型ツアー」も増加傾向(13.7%→16.4%)にある。
- 「パッケージ旅行」は18.2%に留まり、前年同期から4.9%ポイント減少した。

(%)

		沖縄県					全国				
		2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=371)	2025年 1-9月 (n=318)	前年との差	全国との差	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2025年 1-9月 (n=7221)	前年との差	
旅行 形態	個別手配	64.4	63.1	65.4	2.3	11.0	79.6	75.6	76.4	0.8	
	パッケージ旅行	24.4	23.2	18.2	-4.9	3.5	13.1	15.7	14.7	-0.9	
	団体型ツアー	11.2	13.7	16.4	2.6	7.5	7.2	8.8	8.9	0.1	

1. 沖縄旅行実施者の動向

⑤ 旅行先での交通手段【複数回答】 - 依然としてレンタカーの利用割合が高い

(%)

- 「路線バス」などの公共交通機関への分散が課題となっているが、「レンタカー」利用が59.9%と最も多く、依然としてレンタカーが主要な移動手段である状況に変わりはない。

	沖縄県						全国			
	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2025年 1-9月 (n=327)	前年との差		2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2025年 1-9月 (n=7488)	前年との差	
					全国との差					
旅行先での交通手段	レンタカー	56.9	58.0	59.9	1.9	45.0	14.8	16.0	14.9	-1.1
	飛行機	20.7	22.5	20.5	-2.0	13.4	5.4	7.2	7.1	-0.1
	列車 (モルレル含む)	21.4	19.5	19.3	-0.3	-15.5	32.1	32.5	34.7	2.2
	タクシー・ハイヤー	13.6	14.2	13.8	-0.4	5.8	8.1	8.6	7.9	-0.6
	路線バス	15.6	15.2	12.2	-3.0	-1.3	13.5	14.2	13.6	-0.6
	貸切・定期観光バス	8.5	5.6	8.3	2.6	2.6	5.4	5.6	5.6	0.0
	船	8.5	8.8	7.3	-1.5	5.1	2.8	2.4	2.3	-0.2
	自家用車	6.4	9.1	6.7	-2.4	-26.6	36.6	33.7	33.3	-0.3
	観光客向け巡回バスなど	5.4	4.5	5.5	1.0	1.6	3.5	3.6	3.9	0.3
	レンタサイクル・キックボード	3.7	4.3	4.9	0.6	3.5	1.5	1.6	1.4	-0.2
	その他	1.0	1.6	0.6	-1.0	-0.0	0.6	0.9	0.7	-0.2
	利用なし	2.0	1.3	1.5	0.2	-6.6	8.4	8.4	8.1	-0.2

⑥ 宿泊数 - 宿泊数の短期化

(%)、平均宿泊数(泊)

- 「4泊」・「5泊以上」の滞在の割合がやや減少し、平均宿泊数は0.24泊短縮した。全国平均宿泊数も前年比で微減。

	沖縄県						全国			
	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2025年 1-9月 (n=327)	前年との差		2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2025年 1-9月 (n=7488)	前年との差	
					全国との差					
泊数	1泊	12.9	8.8	10.4	1.6	-36.7	49.1	45.8	47.1	1.3
	2泊	30.8	34.5	38.5	4.0	7.6	30.2	30.5	30.9	0.5
	3泊	35.3	31.0	33.9	2.9	20.5	12.7	13.8	13.4	-0.3
	4泊	10.2	13.6	9.2	-4.5	5.1	3.9	5.1	4.0	-1.0
	5泊以上	10.8	12.0	8.0	-4.1	3.5	4.1	4.9	4.5	-0.4
	平均宿泊数	2.86	2.96	2.72	-0.24	0.81	1.87	1.97	1.91	-0.06

1. 沖縄旅行実施者の動向

⑦現地活動^{〔複数回答〕} - 高い購買意欲と海でのアクティビティへの回帰、 現地ツアー参加率の減少

(%)、平均活動数(個)

- 「ショッピング・買い物」、「海水浴・マリンスポーツ」の実施率が大きく高まった。物価高でも購買意欲は高く、海でのアクティビティへの回帰も見られた。全国に比して沖縄旅行が10%ポイント以上高い活動は、「自然や景勝地の訪問」、「ショッピング・買い物」、「リゾート滞在(海浜)」、「海水浴・マリンスポーツ」、「観光施設・動物園・水族館」であった。
- 現地ツアー・体験プログラム参加率は30.3%となり、全国に比べて16.2%ポイント高いものの、その割合は若干低下した。旅行費用高騰が影響している可能性も考えられる。

	沖縄県					全国				
	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2025年 1-9月 (n=327)	前年との差	全国との差	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2025年 1-9月 (n=7488)	前年との差	
現地で楽しんだ活動	自然や景勝地の訪問	53.6	47.3	49.2	1.9	16.5	36.6	33.9	32.7	-1.2
	現地グルメ	44.4	43.3	40.7	-2.6	6.7	37.7	35.0	34.0	-1.0
	まち並み散策・まち歩き	38.3	36.9	39.8	2.9	8.4	31.0	32.0	31.4	-0.6
	ショッピング・買い物	34.2	32.4	39.8	7.4	13.6	26.2	27.4	26.2	-1.2
	リゾート滞在(海浜)	31.9	25.4	28.7	3.3	23.8	4.9	5.2	4.9	-0.3
	海水浴・マリンスポーツ	22.4	19.3	26.3	7.0	23.6	2.5	2.3	2.7	0.4
	歴史・文化的な名所の訪問	28.8	27.5	26.0	-1.5	0.5	26.7	25.9	25.5	-0.4
	観光施設・動物園・水族館	24.4	20.3	25.7	5.4	14.1	11.9	11.9	11.6	-0.3
	都市観光	23.1	27.5	22.6	-4.9	3.4	18.8	19.9	19.3	-0.7
	ドライブ	15.3	12.3	13.1	0.9	7.0	7.9	7.1	6.2	-0.9
	テーマパーク・レジャーランド*	7.1	9.1	11.3	2.2	0.8	9.5	11.0	10.5	-0.5
	アウトドア体験	8.1	8.0	11.0	3.0	8.6	2.3	2.4	2.4	0.0
	温泉	9.8	12.8	8.9	-4.0	-22.9	36.9	35.0	31.8	-3.3
	世界遺産訪問	8.8	4.8	6.4	1.6	3.7	3.4	3.2	2.8	-0.4
	美術館・博物館	4.7	4.8	5.2	0.4	-2.8	6.4	7.9	8.0	0.1
平均活動数	4.02	3.93	4.03	0.11	1.01	3.10	3.12	3.02	-0.10	
現地ツアー等の参加率	29.2	32.4	30.3	-2.1	16.2	11.6	13.5	14.0	0.5	

※沖縄旅行意向者2025年の上位15位までを掲載 (%)

⑧旅行費用 - 旅行費用の高額化

- 全国に比べて高い水準にある沖縄旅行の1人あたりの旅行費用は、「10万円以上」が4割超で最多となり、前年同期から増加した。
- 航空運賃や宿泊料金などの高騰の影響や上記の現地活動の支出増もあり、旅行費用の高額化が進んでいる。

	沖縄県					全国				
	2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=361)	2025年 1-9月 (n=309)	前年との差	全国との差	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7175)	2025年 1-9月 (n=7140)	前年との差	
旅行費用	4万円未満	19.7	18.0	16.8	-1.2	-26.1	50.6	45.1	42.9	-2.2
	4~7万円未満	24.3	24.4	21.0	-3.3	-8.2	26.8	27.1	29.3	2.2
	7~10万円未満	17.3	18.6	18.4	-0.1	6.8	9.6	11.4	11.7	0.3
	10万円以上	38.7	39.1	43.7	4.6	27.6	12.9	16.4	16.1	-0.2

1. 沖縄旅行実施者の動向

⑨ 来訪経験 - ライトリピーター層割合の減少

- 「初めて」が22.0%となり、前年同期から4.1%ポイント増加した。
- 一方で、「2～4回目」は47.1%と、前年同期から6.6%ポイント減となった。ライトなリピーター層の動きに注視が必要である。

(%)

		沖縄県					全国				
		2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2025年 1-9月 (n=327)	前年との差	全国との差	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2025年 1-9月 (n=7488)	前年との差	
来訪 経験	全て初めて	26.8	17.9	22.0	4.1	-0.4	22.0	22.2	22.4	0.3	
	2～4回目	41.0	53.7	47.1	-6.6	1.5	44.6	45.8	45.6	-0.2	
	5回目以上	32.2	28.3	30.9	2.5	-1.1	33.4	32.1	32.0	-0.1	

⑩ 他検討先^{【複数回答】} - 沖縄一択が9割弱

- 旅行先決定に際し、「他検討先がなかった」との回答が前年から5.4%ポイント増加し87.5%を占めた。
- 競合となりうる海外旅行との比較検討は、前年同期から4.9%ポイント減少した。円安による海外旅行敬遠に伴う影響などが考えられる。

(%)

		沖縄県					全国				
		2023年 1-9月 (n=295)	2024年 1-9月 (n=374)	2025年 1-9月 (n=327)	前年との差	全国との差	2023年 1-9月 (n=6263)	2024年 1-9月 (n=7458)	2025年 1-9月 (n=7488)	前年との差	
他 検討 先	ない	83.7	82.1	87.5	5.4	-1.7	87.1	88.6	89.1	0.6	
	ある(国内)	12.9	15.8	10.7	-5.1	0.4	12.4	10.8	10.3	-0.5	
	ある(海外)	7.5	8.6	3.7	-4.9	1.8	1.8	2.2	1.9	-0.3	

1. 沖縄旅行実施者の動向

⑪総合満足度・再来訪意向 - 満足度の向上、ライトリピーター層の再来訪意向の低下

- 全国的には「大変満足」の割合が低下傾向のなかで、沖縄旅行の「大変満足」割合は前年同期に比べ4.7%ポイント増となり、全国と比べても16.4%ポイント高い。
- 再来訪意向については、「大変そう思う(ぜひまた訪れたい)」が43.7%を占め、全国に比べ15.9%ポイント高いが、前年度比では7.3%ポイント減。特にライトリピーター層(2~4回目)における再来訪意向が低下している(左下表)。旅行費用高騰等による影響が考えられる。

<来訪回数別の再来訪意向>

「大変そう思う」の割合	沖縄県			2023年1-9月	2024年1-9月	2025年1-9月
	初めて	2~4回目	5回目以上			
	(n=79/67/72)	(n=121/201/154)	(n=95/106/101)			
2023年1-9月	32.9	36.4	64.2			
2024年1-9月	32.8	47.8	68.9			
2025年1-9月	33.3	33.8	66.3			
「大変そう思う」の割合	全国			2023年1-9月	2024年1-9月	2025年1-9月
	初めて	2~4回目	5回目以上			
	(n=1375/1653/1679)	(n=2794/3414/3413)	(n=2094/2391/2396)			
2023年1-9月	18.5	23.2	43.9			
2024年1-9月	19.7	24.3	43.6			
2025年1-9月	17.3	22.4	43.2			

※n 2023年/2024年/2025年

総合満足度	沖縄県					全国				
	2023年1-9月	2024年1-9月	2025年1-9月	前年との差	全国との差	2023年1-9月	2024年1-9月	2025年1-9月	前年との差	
	(n=295)	(n=374)	(n=327)			(n=6263)	(n=7458)	(n=7488)		
大変満足	47.1	43.3	48.0	4.7	16.4	35.5	32.5	31.6	-0.9	
満足	38.6	36.6	33.9	-2.7	-9.9	44.7	43.0	43.9	0.8	
やや満足	10.2	15.8	12.5	-3.2	-5.7	14.8	17.9	18.3	0.3	
どちらでもない	3.7	3.7	4.3	0.5	-0.6	3.9	5.1	4.9	-0.2	
やや不満	0.0	0.0	0.3	0.3	-0.4	0.7	0.8	0.7	-0.1	
不満	0.0	0.3	0.3	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	-0.0	
大変不満	0.3	0.3	0.6	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.1	
総合満足度指数	6.28	6.18	6.22	0.04	0.23	6.09	5.99	5.98	-0.01	

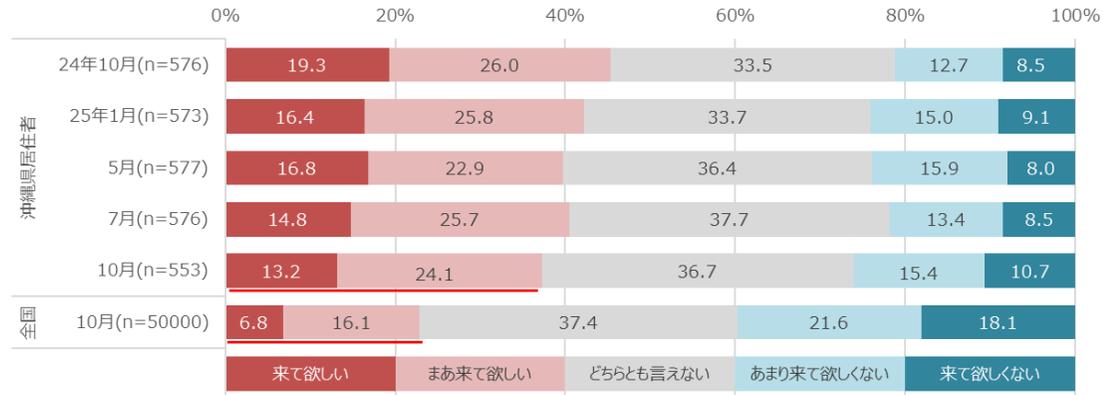
(%)

再来訪意向	沖縄県					全国				
	2023年1-9月	2024年1-9月	2025年1-9月	前年との差	全国との差	2023年1-9月	2024年1-9月	2025年1-9月	前年との差	
	(n=295)	(n=374)	(n=327)			(n=6263)	(n=7458)	(n=7488)		
大変そう思う	44.4	51.1	43.7	-7.3	15.9	29.1	29.5	27.9	-1.6	
そう思う	26.8	23.8	27.8	4.0	-4.7	32.7	32.0	32.5	0.6	
やや思う	16.6	13.1	13.8	0.7	-5.9	18.7	18.9	19.7	0.8	
どちらでもない	6.8	8.0	9.5	1.5	-2.8	11.1	11.5	12.3	0.8	
あまり思わない	3.4	2.1	3.4	1.2	-1.4	5.0	4.9	4.7	-0.2	
思わない	2.0	1.3	1.2	-0.1	-0.7	2.3	2.1	2.0	-0.2	
全く思わない	0.0	0.5	0.6	0.1	-0.3	1.0	1.2	0.9	-0.3	
再来訪意向指数	5.96	6.07	5.93	-0.15	0.36	5.59	5.59	5.57	-0.01	

1. 沖縄旅行実施者の動向

⑫地域住民の旅行者に対する思い - 全国同様、来訪肯定層が減少傾向

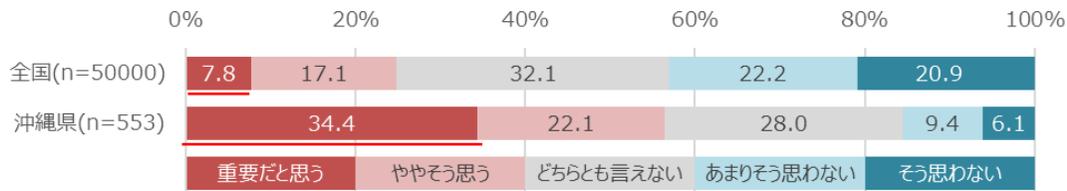
- 居住地域に旅行者が来て欲しいかを尋ねたところ、沖縄県居住者の来訪肯定層(「来て欲しい」+「まあ来てほしい」)は37.3%(全国22.9%)、来訪否定層(「あまり来て欲しくない」+「来て欲しくない」)は26.1%(全国39.7%)であった。沖縄県においても全国同様、来訪を肯定する層が減少傾向にあるが、依然として全国と比べると高い水準にある。



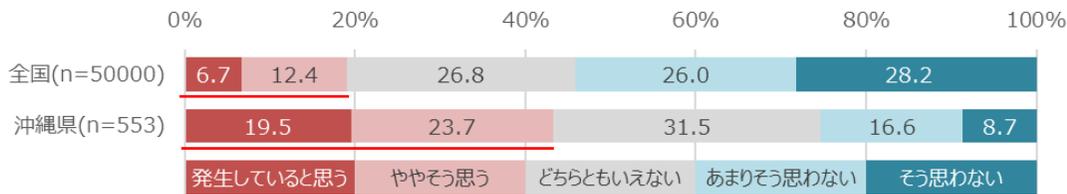
⑬居住地域における住民生活への負の影響等の発生認識 - 全国同様発生認識層が増加傾向

- 観光が沖縄の発展に重要と回答した割合は34.4%(前年同期34.7%)に上り、全国の7.8%(同8.6%)を大きく上回る。沖縄県民の多くが、観光産業が地域経済の柱であることを強く認識していることが分かる。
- 観光客の来訪による負の影響が「発生していると思う」との回答は、全国の6.7%(前年同期5.6%)に対し、沖縄県居住者では19.5%(同17.0%)であり、「ややそう思う」を加えると43.2%に上る。また、全国、沖縄県ともに前年に比べその割合は高まった※。

地域の発展における観光の重要度認識(25年10月)



居住地域における混雑や住民生活への負の影響等の発生認識(25年10月)



※全国には観光地でない地域の人も回答者に多く含まれていることから、比較には留意が必要である。

2. 沖縄旅行意向者の特徴・ニーズ

① 旅行の動機【複数回答】 - 食ニーズは堅調、思い出づくりへの強い期待

- 沖縄旅行意向者の旅行動機は、前年に続き「旅先のおいしいものを求めて」が最多(70.4%)となった。全国と比較して、沖縄により求められているものは、「思い出をつくるため」であり、全国を9.2%ポイント上回っている。次いで「家族の親睦」、「日常生活からの解放」、「保養・休養」と続く。
- 前年との比較では、「未知のものにふれたくて」や「友達とのつきあいを楽しむため」が増加した。

	沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)						国内旅行意向者全体					
	2023年 (n=244)	2024年 (n=241)	2025年 (n=267)	前年との差	全国との差		2023年 (n=1,213)	2024年 (n=1,147)	2025年 (n=1,326)	前年との差		
旅行の動機	旅先のおいしいものを求めて	59.8	71.8	70.4	-1.4	1.2	65.4	65.6	69.2	3.6		
	日常生活から解放されるため	73.0	65.1	69.3	4.1	6.3	66.7	63.9	63.0	-0.9		
	思い出をつくるため	59.0	67.6	69.3	1.7	9.2	53.9	57.6	60.1	2.5		
	家族の親睦のため	46.3	50.6	49.8	-0.8	6.4	40.3	43.2	43.4	0.2		
	保養、休養のため	47.5	41.1	43.1	2.0	3.3	42.0	41.4	39.8	-1.6		
	美しいものにふれるため	40.6	32.4	34.8	2.5	-2.6	36.1	32.3	37.4	5.1		
	未知のものにふれたくて	29.1	25.7	33.7	8.0	2.0	30.3	28.4	31.7	3.3		
	感動したい	27.0	26.1	28.8	2.7	-0.1	27.0	29.2	29.0	-0.2		
	友達とのつきあいを楽しむため	23.0	19.1	25.1	6.0	2.8	21.3	20.7	22.2	1.5		
	知識や教養を深めるため	13.1	14.5	18.7	4.2	-1.6	18.1	18.4	20.4	2.0		
	思い出の場所を訪れるため	10.7	12.0	15.0	2.9	1.0	11.5	12.2	14.0	1.7		
	ぜいたくしたい	15.2	18.7	10.9	-7.8	0.3	11.0	12.0	10.6	-1.5		
	現地の人や生活にふれたくて	10.2	14.1	10.1	-4.0	-1.3	8.6	12.2	11.4	-0.8		
	みんなが行くから	2.0	3.7	3.4	-0.4	0.4	2.2	2.8	2.9	0.2		
	なんとなく	3.3	4.6	3.4	-1.2	0.2	4.0	3.5	3.2	-0.3		
	何の予定もない時間を求めて	9.0	4.1	3.0	-1.2	-2.4	6.8	5.6	5.4	-0.1		
	自分を見つけるため	2.5	4.6	3.0	-1.6	-1.8	3.4	3.3	4.8	1.4		
	健康増進のため	4.9	2.9	2.6	-0.3	-1.8	3.7	3.5	4.4	0.9		
	ハブニングを求めて	1.6	1.2	2.2	1.0	0.3	1.4	1.1	2.0	0.8		
	新しい友達を求めて	1.6	2.1	0.7	-1.3	-0.0	1.1	1.0	0.8	-0.2		
	一人になりたい	3.3	3.3	0.7	-2.6	-2.3	3.7	2.7	3.1	0.4		
	上記のいずれにもあてはまらない	0.4	1.2	0.4	-0.9	-0.1	0.4	0.6	0.5	-0.2		
	旅行をしたいとは思わない	1.6	1.7	0.4	-1.3	-0.5	1.8	1.1	0.9	-0.2		
	無回答	0.4	0.0	0.4	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1		

2. 沖縄旅行意向者の特徴・ニーズ

②今後1～2年の間に行ってみたい旅行タイプ【複数回答】 ー海の人気続くもニーズ分散

- 沖縄旅行意向者が、今後行ってみたい旅行タイプのトップは、例年同様「海浜リゾート」だが、2位以下との差が縮まった。一方で、全国と比較すると、依然として海やリゾート関連の人气が突出しているのが特徴。
- 前年と比較して増加が目立ったのは「ショッピング」、「自然観光」、「動物園・水族館」、「世界遺産巡り」、「離島観光」などであった。

	沖縄旅行意向者 (最も行きたい国内旅行先が沖縄)						国内旅行意向者全体					
	2023年 (n=244)		2024年 (n=241)		2025年 (n=267)		2023年 (n=1,213)		2024年 (n=1,147)		2025年 (n=1,326)	
					前年との差	全国との差					前年との差	
海浜リゾート	52.5	61.8	55.4	-6.4	23.1	29.3	31.6	32.4	0.7			
温泉旅行	45.5	51.5	53.6	2.1	-1.6	49.3	54.0	55.1	1.2			
自然観光	42.6	44.0	51.7	7.7	2.9	47.1	46.8	48.8	2.0			
現地グルメ	42.6	53.5	51.7	-1.8	5.3	45.1	48.3	46.4	-1.9			
テーマパーク・レジャーランド	40.2	41.1	43.1	2.0	6.6	34.2	36.0	36.5	0.5			
歴史・文化観光	29.1	35.7	38.6	2.9	-3.5	40.1	39.9	42.1	2.2			
離島観光	29.9	28.6	33.7	5.1	11.8	19.5	20.1	21.9	1.9			
都市観光	20.9	27.4	31.1	3.7	3.0	26.1	25.2	28.1	2.9			
海水浴	22.5	26.1	29.2	3.1	15.2	11.7	12.1	14.0	1.9			
リゾートホテル	26.6	24.9	28.1	3.2	10.8	16.5	16.1	17.3	1.1			
ショッピング	17.2	18.3	27.0	8.7	8.9	17.2	16.6	18.1	1.5			
動物園・水族館	17.6	18.7	25.5	6.8	6.5	17.6	17.6	18.9	1.3			
世界遺産巡り	20.5	19.5	25.1	5.6	1.5	22.0	22.1	23.6	1.5			
おしゃべり旅行	17.6	19.9	24.0	4.1	4.7	16.6	18.1	19.2	1.1			
マリンスポーツ	18.0	17.4	21.7	4.3	11.5	9.2	9.0	10.2	1.2			
和風旅館	12.3	19.5	21.0	1.5	2.9	18.7	19.7	18.0	-1.7			
町並み散策	18.9	18.3	20.6	2.3	-1.8	21.3	20.1	22.4	2.3			
ロングステイ	16.4	15.4	18.4	3.0	4.1	13.5	14.0	14.3	0.2			
スキー・スノーボード	13.1	13.3	16.1	2.8	5.5	8.6	8.5	10.6	2.2			
パワースポット	9.0	12.9	16.1	3.2	3.5	10.4	13.0	12.6	-0.4			
グランピング	11.5	11.2	15.4	4.2	6.2	7.4	9.0	9.1	0.1			
スポーツ観戦	8.6	13.7	15.4	1.7	2.3	8.5	12.6	13.0	0.4			
高原リゾート	11.9	13.3	14.6	1.3	-1.4	14.4	14.2	16.0	1.8			
芸術鑑賞	10.2	11.2	14.2	3.0	0.6	11.9	13.8	13.7	-0.1			
祭・イベント	10.2	12.0	13.5	1.4	-0.3	11.5	11.7	13.8	2.1			
キャンプ	9.8	14.5	13.5	-1.0	5.9	6.8	8.5	7.6	-0.9			
自然現象鑑賞	9.0	13.7	12.4	-1.3	1.0	9.5	11.3	11.3	0.0			
花の名所巡り	6.6	7.5	11.6	4.1	-1.1	6.6	11.0	12.7	1.7			
観光列車旅行	9.0	7.1	10.9	3.8	-2.0	11.1	12.2	12.9	0.7			
ホテルステイ	6.6	9.5	10.5	0.9	2.0	6.6	7.8	8.4	0.7			

※沖縄旅行意向者2025年の上位30位までを掲載
 (注)本設問は、最も行きたい旅行先で行いたい旅行タイプではない点に注意(沖縄旅行意向者が沖縄に限らず旅行を実施するにあたって行いたい旅行タイプであり、沖縄で行いたい旅行タイプではない)。

2. 沖縄旅行意向者の特徴・ニーズ

③旅行タイプ別の今後1～2年の間に行ってみたい旅行先【自由記入】 -自然・リゾート関連での 沖縄シェア拡大

- 沖縄県が上位3位以内となった旅行タイプは右表の通り。
- 「海浜リゾート」や「マリンスポーツ」など、海に関する項目を中心に、前年同様に高い水準となった。
- 「海浜リゾート」、「マリンスポーツ」、「海水浴」、「リゾートホテル」、「フォトスポット巡り」、「ロングステイ」はハワイよりも上位に。

※行ってみたい旅行先は、国内・海外問わず自由に回答してもらい、その回答を国内は都道府県別（または地方別）、海外は国別（または島別）に整理して集計。

*沖縄県については、記述された具体的な観光地名（「沖縄県」「沖縄」といった回答は除く）を注釈に追加。数値は回答件数。

*回答数（n数）が少ない旅行タイプについては、自由記述の回答件数も少ないため留意されたい。

自然観光

2023年 (n=586)			2024年 (n=552)			2025年 (n=656)		
1位	北海道	25.8%	1位	北海道	23.2%	1位	北海道	24.5%
2位	沖縄県	6.8%	2位	沖縄県	8.3%	2位	沖縄県*	9.9%
3位	鹿児島県	5.6%	3位	ハワイ	6.3%	3位	鹿児島県	6.4%

*宮古島：8、石垣島：3、沖縄離島：2、西表島：1、与那国島：1、波照間島：1、やんばる：1

海浜リゾート

2023年 (n=358)			2024年 (n=367)			2025年 (n=433)		
1位	ハワイ	32.4%	1位	沖縄県	41.7%	1位	沖縄県*	38.6%
2位	沖縄県	29.6%	2位	ハワイ	32.2%	2位	ハワイ	32.6%
3位	静岡県	2.8%	3位	グアム	2.7%	3位	グアム	4.4%

*宮古島：16、石垣島：7、久米島：1、小浜島：1、与那国島：1、沖縄の離島：1、沖縄本島：1

マリンスポーツ

2023年 (n=112)			2024年 (n=105)			2025年 (n=135)		
1位	沖縄県	62.5%	1位	沖縄県	63.8%	1位	沖縄県*	55.6%
2位	ハワイ	14.3%	2位	ハワイ	17.1%	2位	ハワイ	25.2%
3位	静岡県、パリ	1.8%	3位	グアム	2.9%	3位	オーストラリア	6.7%

*宮古島：6、石垣島：3、慶良間：1

離島観光

2023年 (n=242)			2024年 (n=232)			2025年 (n=295)		
1位	沖縄県	49.6%	1位	沖縄県	40.9%	1位	沖縄県*	46.4%
2位	鹿児島県	8.7%	2位	鹿児島県	12.1%	2位	鹿児島県	10.8%
3位	東京都	8.3%	3位	長崎県	10.8%	3位	東京都	10.8%

*宮古島：35、石垣島：25、与那国島：2、西表島：3、波照間島：2、竹富島：2、鳩間島：1、八重山諸島：1

海水浴

2023年 (n=145)			2024年 (n=142)			2025年 (n=188)		
1位	沖縄県	39.3%	1位	沖縄県	43.7%	1位	沖縄県*	39.4%
2位	ハワイ	20.0%	2位	ハワイ	16.9%	2位	ハワイ	23.4%
3位	静岡県	6.9%	3位	静岡県、和歌山県	4.2%	3位	静岡県	6.9%

*宮古島：1、石垣島：1、与那国島：1、鳩間島：1

リゾートホテル

2023年 (n=205)			2024年 (n=187)			2025年 (n=230)		
1位	沖縄県	23.9%	1位	沖縄県	32.6%	1位	沖縄県*	34.8%
2位	ハワイ	13.7%	2位	ハワイ	19.3%	2位	ハワイ	15.7%
3位	北海道	5.9%	3位	北海道	5.9%	3位	北海道	7.8%

*宮古島：4、石垣島：4、竹富島：2、名護：1、沖縄の離島：1

アドベンチャーツーリズム

2023年 (n=-)			2024年 (n=36)			2025年 (n=64)		
	1位	沖縄県	25.0%	1位	沖縄県*	23.4%		
	2位	北海道	8.3%	2位	北海道	6.3%		
	3位	新潟県	5.6%	3位	オーストラリア	6.3%		

*西表島：1

動物園・水族館

2023年 (n=219)			2024年 (n=209)			2025年 (n=256)		
1位	北海道	20.1%	1位	北海道	24.4%	1位	北海道	26.6%
2位	沖縄県	19.6%	2位	沖縄県	23.0%	2位	沖縄県*	23.0%
3位	和歌山県	8.2%	3位	東京都、神奈川県	11.5%	3位	神奈川県	9.4%

*美ら海水族館：13

ホテルステイ

2023年 (n=79)			2024年 (n=91)			2025年 (n=112)		
1位	東京都	10.1%	1位	東京都	12.1%	1位	沖縄県*	16.1%
2位	沖縄県	8.9%	2位	沖縄県	11.0%	2位	東京都	14.3%
3位	北海道	7.6%	3位	ハワイ	7.7%	3位	北海道	8.0%

*石垣島：1、宮古島：1

フォトスポット巡り

2023年 (n=38)			2024年 (n=32)			2025年 (n=39)		
1位	東京都	10.5%	1位	神奈川県	12.5%	1位	沖縄県*	15.4%
2位	アメリカ合衆国本土	7.9%	2位	アメリカ合衆国本土	9.4%	2位	ハワイ	10.3%
3位	京都府、沖縄県、ハワイ	5.3%	3位	北海道、山梨県、静岡県	6.3%	3位	韓国	7.7%

*宮古島：1

ロングステイ

2023年 (n=165)			2024年 (n=165)			2025年 (n=190)		
1位	ハワイ	18.8%	1位	ハワイ	16.4%	1位	沖縄県*	13.7%
2位	アメリカ合衆国本土	6.7%	2位	沖縄県	9.7%	2位	ハワイ	12.6%
3位	北海道、沖縄県、オーストラリア	4.8%	3位	オーストラリア	7.9%	3位	オーストラリア、アメリカ合衆国本土	5.8%

*沖縄本島：1、恩納村：1、今帰仁村：1、石垣島：1、鳩間島：1、与那国島：1

産業観光

2023年 (n=20)			2024年 (n=37)			2025年 (n=30)		
1位	神奈川県、三重県、長崎県、沖縄県	5.0%	1位	神奈川県	8.1%	1位	北海道	10.0%
2位			2位	群馬県、千葉県、三重県、山梨県、沖縄県	5.4%	2位	沖縄県*	10.0%
						3位	愛知県	10.0%

*宮古島：2

秘境ツアー

2023年 (n=84)			2024年 (n=85)			2025年 (n=112)		
1位	北海道	13.1%	1位	沖縄県	10.6%	1位	鹿児島県	10.7%
2位	鹿児島県	8.3%	2位	パルー	7.1%	2位	北海道	8.0%
3位	沖縄県	7.1%	3位	北海道、鹿児島県	4.7%	3位	沖縄県*	8.0%

*西表島：3

エコツアー

2023年 (n=37)			2024年 (n=31)			2025年 (n=50)		
1位	北海道、オーストラリア	8.1%	1位	沖縄県	9.7%	1位	北海道	12.0%
2位			2位	北海道、静岡県、長野県、奈良県	6.5%	2位	沖縄県*	8.0%
3位	カナダ	5.4%	3位			3位	オーストラリア、長野県	6.0%

*西表島：1

3. 今次調査結果とそれを踏まえた沖縄に求められる取組

物価高騰、円安等の影響

- 旅行費用の高額化
- 宿泊数の短期化
- 現地ツアー参加率の減少

ライトリピーターへの対応

- ライトリピーター層割合の減少
- ライトリピーター層再来訪意向低下

ニーズの多様化

- 高い購買意欲と海でのアクティビティへの回帰
- 海の人気続いてもニーズ分散
- 自然・リゾート関連での沖縄シェア拡大
- 思い出づくりへの強い期待

旅行スタイルの変化

- 主流は個別手配
- 予約行動の早期化

オーバーツーリズムへの懸念

- 観光客の来訪を肯定する割合が減少
- 負の影響を認識する割合の増加

移動手段の課題

- 依然としてレンタカー利用割合が高い

価格に見合う経験価値の創出と戦略的なリピート促進

- 物価高騰に対し、単なる価格競争やコスト転嫁に陥るのではなく、価格以上の特別な体験を提供する高付加価値化を推進することが不可欠である。そのためには、従来の原価積み上げ式の価格設定から脱却し、沖縄ならではの希少性やストーリー性を核に、**高単価でも納得感のある独自体験を提供**することが重要である。
- ライトリピーターには、**定番観光から踏み込んだ、地域文化や住民との交流など新しい魅力の提供**が必要である。また、旅行費用の高騰で来訪を躊躇する層に対しては、旅先でのスポットワーク活用や閑散期でも楽しめる旅を提案し、金銭的・心理的ハードルを下げる**ことが求められる**。
- 上記の魅力や体験等をターゲット層に届けるためには、検索エンジンや生成AI等に抽出されるようなストーリー性や特徴を明確に打ち出す必要がある。**旅行者が「自分だけの特別な旅」を作り上げ体験すること**で満足度を高め、再来訪に繋がる**ことが期待される**。

多様化するニーズへの対応と旅行スタイルに合わせた情報発信の最適化

- 「海・リゾート」が沖縄の強い魅力である一方、顧客ニーズは多様化している。マリン体験の未経験層には、トライアルプランや初心者向けガイドツアーなどを**一度経験してもらうことで、将来の本格的なアクティビティ参加へとつなげる**。また「ショッピング」「自然観光」など分散するニーズの受け皿の強化や、雨天時やオフシーズンでも楽しめる選択肢を拡充し、安定した集客や満足度の獲得を目指す。
- 旅行者は単なる場所や施設ではなく、「**記憶に残る体験**」を求めている。この期待に応えるため、一步踏み込んだ付加価値サービス(記念日や特別なリクエストへの対応、地域性を活かした特別な演出等)を提供することが重要である。
- 個別手配や予約の早期化を踏まえ、旅行者が**計画を立てる早期の段階でこれらの多様な選択肢を提示**することで、「**選ばれるディステーション**」としての地位確立に繋げる。

住民生活と調和した持続可能な観光地づくり

- 県民の来訪歓迎意向は依然として高いものの、その割合の減少は軽視できない。生活環境への負荷(生活コストの上昇や治安・安全性への不安等)を軽減する対策と並行し、空港、インフラ、医療体制など観光需要によって維持・向上している側面を可視化し、**さらなる住民の理解と協力を得ることが不可欠**である。
- 宿泊税などの新たな財源を、持続可能な公共交通の維持・拡充や自然環境の保全といった明確な目的のために活用することで、観光の恩恵が地域に行き渡る仕組みを構築し、住民が「**観光の発展が生活の質の向上に繋がる**」という認識を広げ、**持続的な観光への協力を得る好循環**を生み出す。
- 主要観光地を結ぶバス路線の増便、運行情報の更なるデジタル化、観光客向け周遊パス等により、観光客をレンタカー利用から公共交通へと誘導することで、バス事業者の収益改善と住民の生活路線の維持・向上を図り、**住民と観光客双方にとって利便性の高い交通環境**を目指す。